

アカモズ

Lanius cristatus Linnaeus

スズメ目モズ科

石川県カテゴリ 絶滅危惧 I 類

国カテゴリ 絶滅危惧 I B類

選定理由

近年全国的に減少している。県内でも生息は局地的で、減少が著しい。

形態

全長20cm。頭部から背、翼、尾などは赤褐色。下面は白。黒い過眼線と白い眉斑を持つ。

国内分布

夏鳥として九州中部以北の平地から低山の林、灌木のある草原に渡来する。本州では高原、北海道では低地の草原に多い。

県内分布

加賀地方ではクロマツなどの海岸砂防林、能登地方では低山の疎林に分布していたが、近年急激に数が減少した。現在、加賀地方で確実な繁殖地の情報はない。

生態

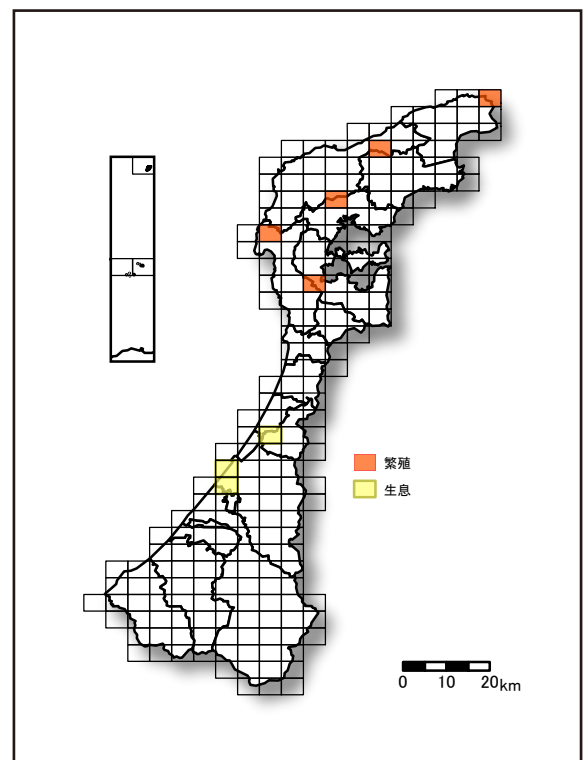
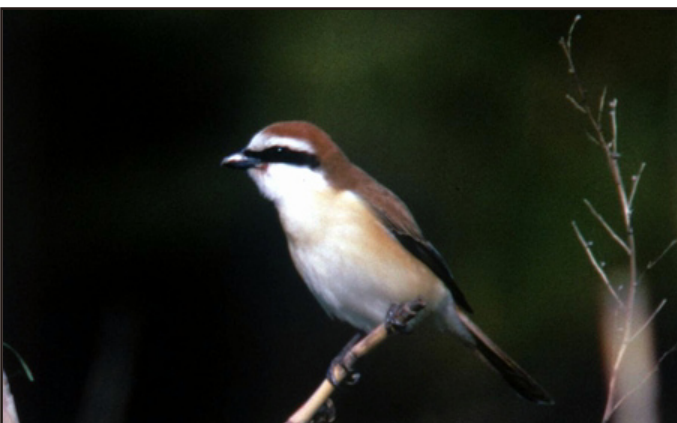
主食は昆虫。繁殖期は5～7月で、抱卵期間、育雛期間はともに14～15日。

生息地の条件

加賀では海岸近くのクロマツ、ニセアカシア林と隣接する灌木のある草原。能登では低山の疎らな林や灌木のある草原。

生存の危機

海岸林の伐採など。しかしそれほど環境が悪化していない場所でも減少しており、越冬地での環境悪化、乱獲などが懸念されている。(A, D)



県内の分布